打ち合わせ議事録

■打ち合わせ内容

[1]先方より説明（柴岡さん）

* モンテカルロシミュレーションを使った信用リスクモデル（FTが過去に作ったもの）
* かなり負荷がかかる計算であり，数年前からある程度簡便化してもいいのではないか
* ICSの信用リスクは年限と格付け毎の係数が与えられ，それらの線形結合で計算できてしまうので，その計算方法に置き換えてもよいのではないか
* ただし，ICSの係数の設定はブラックボックスであり，社内の信用ランクともおそらく整合しないので，独自のパラメータを設定した上で信用リスクモデルの構築をしたい．
* ICSでのパラメータ設定方法がある程度わかれば，その手法を第一生命内部で適用し，パラメータを算出できる．
* おそらくバーゼル規制と同様のパラメータの設定方法である．

[2]質疑応答

【質問1】

（FT佐藤部部長）

第一生命で使用している信用リスクの測り方をICSの手法に入れ替えられるのであれば入れ替えたいという認識でよいか．

（第一生命柴岡）

ご認識の通り．

（FT佐藤部部長）

第一フロンティア生命はどのような手法で実施しているのか．

（第一生命柴岡）

ICSと類似した手法に今年から変更している．第一フロンティアではリスクを加味した商品別のリターン（ICAリターン）を算出しているが，この際に信用リスクについて検討する必要がある．第一フロンティア生命の信用ポートフォリオは豪州の地方債に偏っているので，信用リスクの説明にかなり急を要するような状況であった．したがって，以前のモデルよりもICSの手法にする事が必要になった．

【質問2】

（FT田中AM）

第一生命の方向性としては，完全にICSに一致させる事はしないものの，計測の手法としては同じものを使用するという認識で問題ないか．

（第一生命柴岡）

ご認識の通り．計測手法としては，経営層への説明を考慮し，ICSのようなシンプルな手法が良いと考えている．一方で，モデルに使用しているパラメータについては社内の数字に基づいたものを使用したいと考えている．

（FT田中AM）

他のグループ会社についてもこのような方向性で進めていく予定なのか．

（第一生命柴岡）

それは難しいと考えている．例えば第一フロンティアではデフォルトデータがなどのデータが十分にあるものではないため，自前のパラメータを用意するのは難しい．

[2]工藤さんより説明

* 第一生命HDはIIGに指定されたため再建計画を作る必要がある．
* 資本移動の可能性を考慮しながら作る必要がある．
* そのサーベイができればと考えている．

[3]質疑応答

【質問1】

（FT佐藤部部長）

ICSでの資本の測り方はESRを計算する際に使用していないのか

（第一生命工藤さん）

ESRでは考慮していない．

【質問2】

（FT田中AM）

東京海上以外に資本の移動可能性に関する話に着手している会社はあるのか．

（第一生命工藤さん）

東京海上以外には聞いたことがない．

[4]今後について

* ストレステスト，信用リスク，資産集中リスクについて優先度を９月までにリスク管理部で決定していただく．
* FTでは９月までに情報収集をして案件としての受け入れやすさ等について先方へ伝える．